

第8回館山わかしおトライアスロン大会  
救護アンケート調査結果(2017年)  
【Web掲載用】

ローリングスタートについて

# ローリングスタートとは

- 一斉スタートではなく、予想タイム順に少人数ずつスタートする方法。
- 国際的に長距離のトライアスロンで導入が進んでいますが、短距離のトライアスロンではほとんど実施されていません。
- スタートの混雑・混乱を減らし、スイムトラブルを減らす可能性があります。
- 一方で、ゴールするまで順位が確定しないため、競技としての面白さや公平性に影響がある可能性があります。

# 調査の概要

- タテトラでは、大会救護・安全の向上のため、参加者の皆様にアンケート調査にご協力いただいています。
- タテトラ第8回大会で、ローリングスタートが初めて導入されました。
- 大会終了後、参加者を対象にローリングスタートに関するWebアンケートを行いました。

# ローリングスタートの様子

10人ずつ、10秒ごとにスタート

1ウェーブ最大約340人  
約6分後に全員がスタート

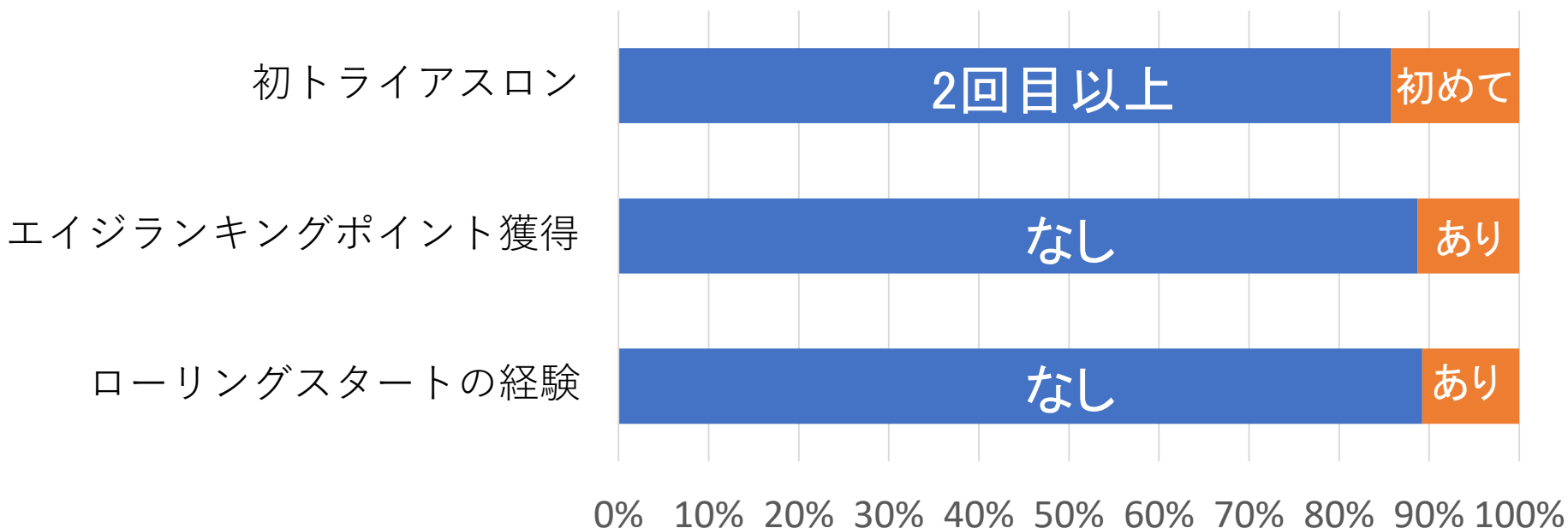


スタート後は横に広がらず  
細い列が続く

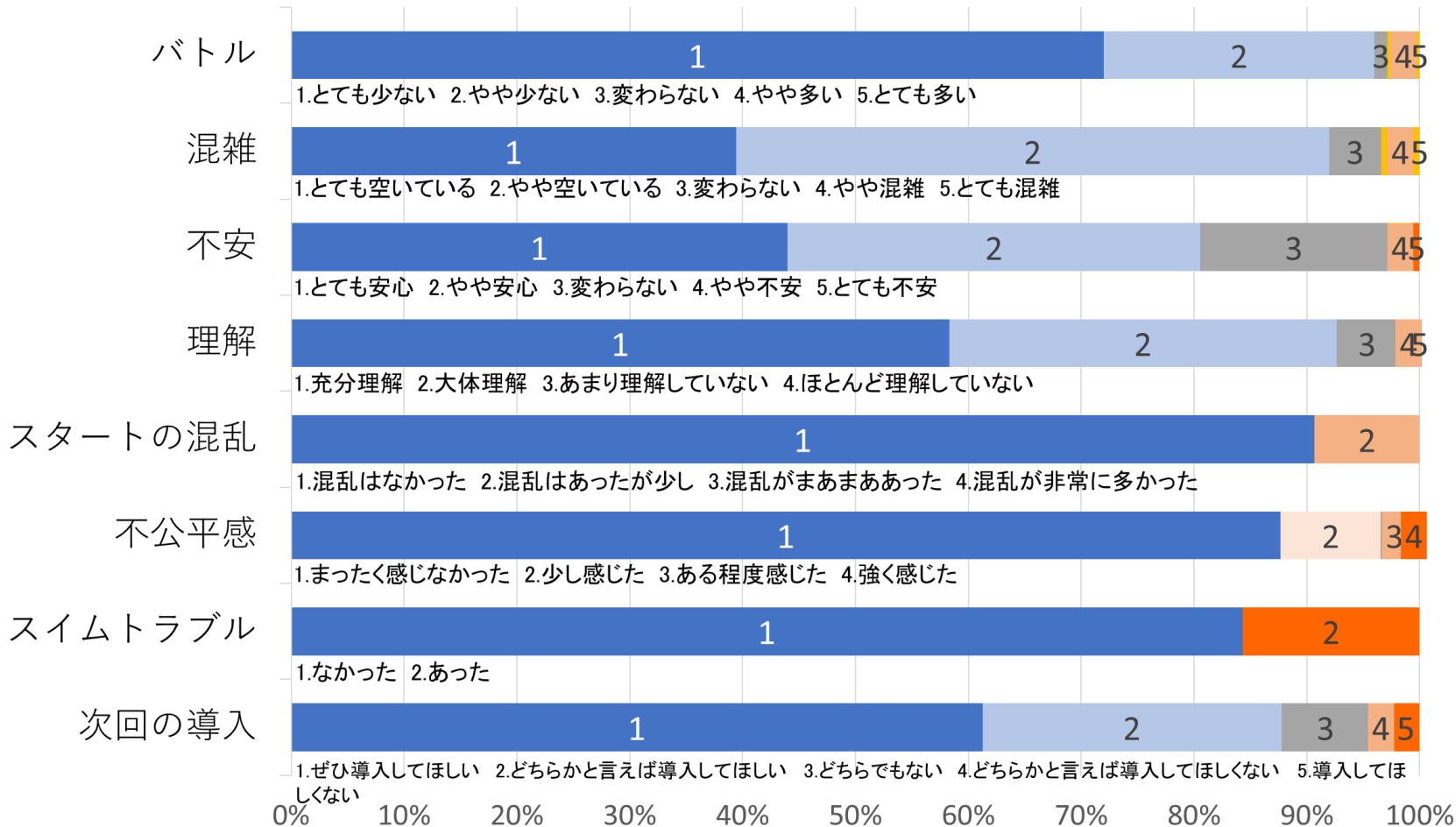
# アンケート回答者の概要

- ローリングスタート経験者：約10%
- エイジランキングポイント獲得者：約10%

※JTUの指定大会での順位に応じてポイントが付与され、年間の合計ポイントを競う制度  
ポイントを獲得している方は、各年代の上位層ということになる



# アンケート結果



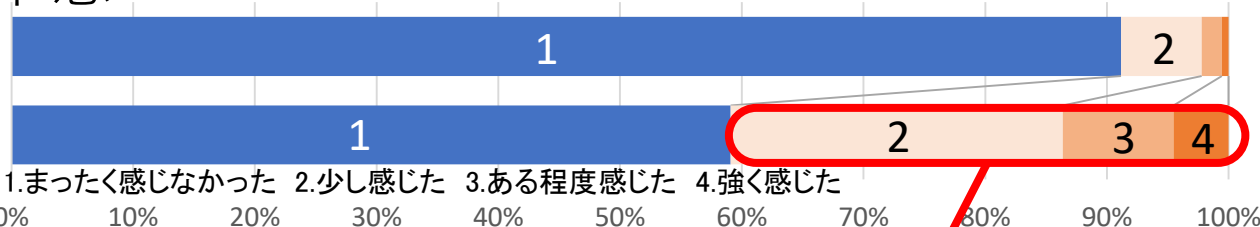
バトルや混雑は少なく、安心して参加できた人が多かった  
不公平感も少なく、次回導入を希望する人が多かった

# 否定的な意見は上位層に多い

- エイジランキングポイント獲得の有無で分析

## <不公平感>

なし

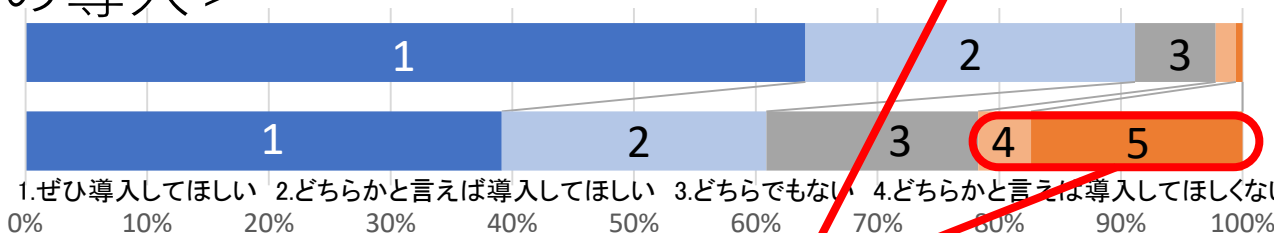


あり

1.まったく感じなかった 2.少し感じた 3.ある程度感じた 4.強く感じた

## <次回の導入>

なし



あり

1.ぜひ導入してほしい 2.どちらかと言えば導入してほしい 3.どちらでもない 4.どちらかと言えば導入してほしくない 5.導入してほしくない

全体に肯定的な意見が多いが、  
記録を狙う上位層に否定的な意見が多い傾向

# まとめ

- ローリングスタートにより、バトルや混雑を減らし、選手が安心して参加しやすくなる可能性があります。
- 一方で、公平性やランキング制度との整合性は十分検討する必要があります。
- 参加者への事前案内、整列時の誘導方法などは特に配慮が必要な点だと思われます。
- 運営面では、スタートの人員配置や事前説明に多少の手間がかかりますが、大きな混乱はありませんでした。スタート後はほぼ一直線に選手が進むため、ライフセイバーから「水上監視をしやすかった」という感想もあり、安全管理の点でもメリットがありそうです。